

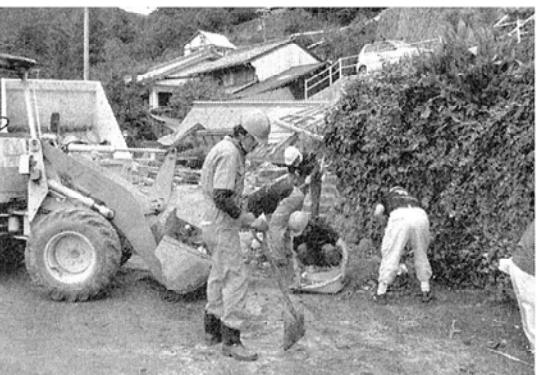
災害廃棄物（紀伊半島大水害）



産廃協による撤去作業



和歌山県市屋地区的仮置き場



道路に溜まった土砂の積み込み作業



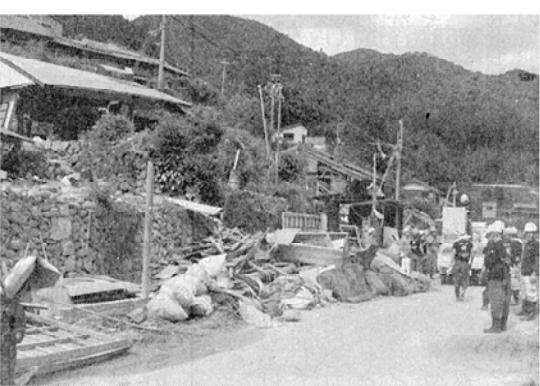
山積みになった量

長から感謝の言葉があつたという。五條市の宇井地区では災害廃棄物の集積作業が済み次第、地域の広域処理施設への運搬を担つた。県南の山間部は柿や梨など果物の収穫もみじ狩りなどで毎年多くの観光客が訪れる。「周辺自治体の協力もあり、素早く撤去できることで、何よりだ。協会としてもさまざまな事態の想定・準備ができる」といふ。今回の経験を生かして、今後も「災害時の対応策を一層強化していく」と奈良県では、台風12号の被害が南部に集中して天川村と五條市から出動要請があり、天川河川敷の倒壊で道路網が寸断された。県を通じて開始、「行進シーザン」野呂事務局町は話して、迅速に対応する。

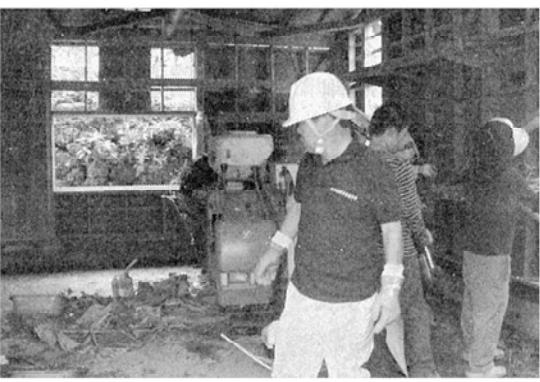
各県業界団体が撤去作業へ



和歌山県の那智漁港のようす



道路脇に浸水した家財などが横まっていた



浸水した倉庫からの運び出し



三重県紀宝町での作業



住宅地での運搬作業

処理協定に基づき出動

伊半島で約1億立方㍍の土砂崩れ（東京ドーム約80杯分）で戦後の大豪雨災害では最大）を引き起こすなど和歌山・奈良・三重の3県に甚大な被害をもたらした。この「紀伊半島大水害」により発生した災害廃棄物の処理について、行政からの要請を受けた3県の産業廃棄物協会などの関係業界団体は、直後から迅速な撤去作業にあつた。その模様を紹介する。

集積物を安全・迅速に処理

1日も早い復興のため

（社）和歌山県産業廃棄物協会（武田全弘会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物やふくら、畳、什器などが集積場へ集められ、被災直後の2町では、水に流された衣類

（社）奈良県産業廃棄物協会（木村亮一会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物やふくら、畳、什器などが集積場へ集められ、被災直後の2町では、水に流された衣類

災害廃棄物処理を支援

台風12号被害の紀宝町

代表（三功・社長）は、同協議会の片野宜之



水没して廃棄された家財道具など

土砂など、町内の路上に残された廃棄物（両日計約300立方㍍）を収集。骨・家電・金属類・木類・木くず・その他雜芥の5品目に分けて上まで、仮集積場所である町営運動場へ運搬した。会員企業の中間処理施設へ運ぶなどの作業を実施した。一番被害が大きかった紀宝町では1万㍍以上の災害廃棄物が出ており、協会が連絡調整しながら作業を進めてきた。

（社）奈良県産業廃棄物協会（木村亮一会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物やふくら、畳、什器などが集積場へ集められ、被災直後の2町では、水に流された衣類

（社）奈良県産業廃棄物協会（木村亮一会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物やふくら、畳、什器などが集積場へ集められ、被災直後の2町では、水に流された衣類

（社）奈良県産業廃棄物協会（木村亮一会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物やふくら、畳、什器などが集積場へ集められ、被災直後の2町では、水に流された衣類

（社）奈良県産業廃棄物協会（木村亮一会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物やふくら、畳、什器などが集積場へ集められ、被災直後の2町では、水に流された衣類

（社）奈良県産業廃棄物協会（木村亮一会長）は、災害時の廃棄物処理協定に基づき、台風12号で発生した災害廃棄物やふくら、畳、什器などが集積場へ集められ、被災直後の2町では、水に流された衣類